(金) 日九 作月六

檢行所

卸船行

貯金が

上韓

(荒川芳三郎書)

生命線を

清悲

一 人三〇九千人其の他の外國へ に加算すれば戸敷五、四二三 に加算すれば戸敷五、四二三 一戸人口一、三五八千人の増加 であり、以上を各省及特別區 であり、以上を各省及特別區 くである

に表き算出した大同二年末満 一八八千戸、人口三〇、八八 一八八千戸、人口一、二七四千 五六千戸、人口一、二七四千 五六千戸、人口一、二七四千 千人、女一三、八七九千人 手女別に觀れば男一七、〇〇 下人、女一三、八七九千人

(大同二年十二月末現在)

計安安安安爾東特河 江 北西南東特別別 江 分分分分別市區省省省

鐵道附

數年計畫で 國境線各地經濟調查

全滿稅關監視科長會議の結果

如きはあり得べからざる事 配上げの策動を助勢するが 配上げの策動を助勢するが

祝を呈するに至つた、この情味特産物の荷動きは俄かに活

松花江、河豆の大量輸

買上說

本及南京向

路其他が明細に

新京人の

が傳はり各方面の神經を刺戟 ででしとのニューヨーク電報 ででしたのニューヨーク電報 が傳はり各方面の神經を刺れる。 が傳はり各方面の神經を刺戟 報道と觀る

益豊質

勝代は、既はずる が、しかし脱手のこと を殴り、大脚のこと

事變前に比べるこ五倍に増加

極め輸入方面でも端午節を境の降雨に災せられ頗る不振をの降雨に災せられ頗る不振を見るに輸出方面に於ては連出 数日來緩慢に推移したとして幾分落調氣味の

水である、二十六、七の便局の窓には文字通り、流洲國、各會社の月状にから月末にから

卅八萬八千五圓にまで飛躍し 二十一萬四千六百十圓になつ。 が昭和九年五月には約六倍の | 五月の五千三百五十二口、五路金額六萬三千八百六十九圓 | 萬三千七百五十二圓が今年五日本十二日、五田和九年 | 10回戻 □ 10回圧 □ 10回戻 □ 10回

畜飼料用高梁、苞米等を始め │三分据置を决定した場やゝ好轉せしため日本向家 | 紡績株主總會で今期配當一割天候漸く定まりたると特産相 | 【東京國通】二十八日の日府 括置 日清紡績配當

を見なかつたのだと

闘を隠れて、

でが、それが含めに、彼女に動ったれたのではなかった。 それよりは、いまくさに、彼女に動った。 にれほど不快な系統 勝代との交際が解 思ふと、他一は、

一度もなか

正金紗票最近流通狀况 を確保し來れる正金銀行大 とを確保し來れる正金銀行大 とを確保し來れる正金銀行大 とを確保し來れる正金銀行大 とを確保し來れる正金銀行大 を動力 とを確保し來れる正金銀行大

に於ける流通高をみると

しく滅少するに至つた、最近振の爲め昨今其の流通高は著

國幣の州内流通で

更に減少の一途を辿らん

昨今とかく噂されてゐるが何といつても満洲景氣萬才である、ことに貯金がグッと増加したことは在 M邦人の心の動したことは在 M邦人の心の動したことは在 M邦人の心の動 会總額は三百三十四萬五千五 つた爲替振出は五百八十五萬 五千七百五十七圓九十錢、貯 で取扱 に新京だけで**内地**その他へ送 百七十四圓九十六錢で一年間 満邦人の虞の姿の現れであつ 榮 行條件につき最後的協議の結査金計畫に基き第一回社債務を計量に基き第一回社債務 ・ 電がしいのは月二十五日 ・ 電郵便局本田郵便課長は語る ・ 電郵便局本田郵便課長は語る ・ 電郵便局本田郵便課長は語る ・ 電子である、右について新 ・ 電子である。 ・ 電子できる。 ・ 電子である。 ・ できななる。 ・ 果左の如く决定した 間は八時から四時までです事務員が取扱ふのですからの人の現金を僅か十八人のの人の現金を僅か十八人のですから 満鐡社債シンジ 月給日の翌日から三日 時ら 氏が決定した 氏が決定した

銀行團

が、彼女をさうさせた

たのである。

「あたし、眞劔と、これ以上眞劔に

すれば宜い

だらうか。只殊更に、直続らしい 「僕たちは、現在製して貨館なり 戯になつて貰へないだらうかと

は伸一の眼に

後任村田副社長

は心を変を連れて、

雑

際代は、茂彦を膝に乗せながら

他一には、その夜の明けるのが

「関、戦戦に、君に考へてもらひを縮れて来た。

白廿七萬四千人

仕滿邦人現在數約九十萬人

一、拂込期日七月中旬

一、償還期限十五年 (三年一、總額四千萬圓

遊びの棚手を (は、ハッキリ分)と を迷はせた。 説めいた伸一の言楽が、時代

電話四七九六番

ど京

本年流行の訪問着

散步着、着尺

が一は、話す機 「まあ――どんな夢をみて?」 「昨夜茂堂が夢を見て泣いた と、他一はまた言った。

あ

また。 第至急御伺ひ致します 事をという。 第一報次 の数御

●新柄見本豐富 御一報文第参上 御一報文第参上 御一報文第参上

公益商會支店

新京吉野町五丁目 新京 曜町二丁目

ででする。 での資金を求む、但し共同に 性名在社 性名在社

番五〇七二電

0

着尺

行洋和昭〇六通條一東

定評ある篠田へ!

ふさん……わた類は

土地家屋

金融致します~朝日通十七電話にて極秘~朝日通十七 貸室の電話賣買 電話長四八二八番新京土地建物會社

國產品!

上

▼花吳座

だっている。 でおいてほしい、といつたのに、 だれが、どうして魅しいの?」 が抱いてほしい、といつたのに、 窓に かったから、それでかいたんだ。子供の機だから、 とれ でかいたんだ。子供の機だから、 でがいたんだ。子供の機だから、 でがいたんだ。子供の機だから、 でがいたんだ。子供の機だから、 でいっている。

んたが大好きよ」
したが大好きよ」 タイプライター 印象 一新 満 社 O 版 版

ま。この間ね、市子が、

ヤ双葉学は板格安品荷揃 双葉洋行

東京に来ておらつしゃるんだ。その大き、心の中で呟いた。 しゃんがでは無い。 奥さんは、 背際、 変女は、 脳をわくし させなが **貨** 貸出勉强 保管叮嚀 電四七の番吉野町一丁目みどり茶園 報日 通六九 **新茶にて品揃**

東が、他一のいる

思はずか

かったので、反って他一が、驚い 勝代の驚きやうが、あまりひ 10、市子が、関の税ももう一つ夢の話がある

新京高砂町一目

高砂袋林

伊希望,寸法三般枝 南洋本場直輸入 其他建築製林品一般



會 吉野町吉野組內新京支部 派遣大通速配研究 マツサー ジ **英出勉强** 保管確實 流質品安賣 祝町子目七四 博多屋

連大店本 火鉢専用四寸煉炭に限る火鉢専用四寸煉炭に限る火鉢専用五寸煉炭に限る

新

三三九四電

看 進 婦二名急募希望 新京商業學校前 小倉小見科醫院 下宿 8世話は瀬日 予 町四ノ四三井物 ・ 町四ノ四三井物

防歌黄人

京染洗張專門

眼鏡 電二六四五番

金華堂

余內

の御用は!!

樂道食 そして御氣輕な

八八八 不 (新家百貨店横入)

新築!御氣持よき御座敷

(=)

局橋藏相の决意旣に動かず

力視されてゐる

一時小康狀態を續けて來た政局は愈よ小山法相より行ふ可き大蔵の東京國通)一時小康狀態を續けて來た政局は愈よ小山法相より行ふ可き大蔵の東京國通)一時小康狀態を續けて來た政局は愈よ小山法相より行ふ可き大蔵

强調し必死貨徹を期すとす、我同盟は左の二點を

現を約せずんば存立の意義図一致小閣を製望する、か図一致小閣を製望する、か

進展

きりで近く來京、ファンの待望し

往來

藏相を訪

問

轉直下

後繼內閣策動再燃

十三月六年九和昭

某前閣僚の起訴は 爬對的不可

法相廿九日閣議前報告か

一明 日 一となるので驚驟 任も極めて際首相に對する閣僚奏請の責 法務官異動

九日大

布望すれば愈々サ小川法相は政府が

電果動中關東軍關係左の如し 軍果動中關東軍法務官 古川清一 補第八師團法務官 古川清一 重要な三長老會議が読かれる 事とならう、而して會談の結果に於いても綱紀問題が惹起 されるに至つた以上最早製下 に骸骨を乞ふに意見一致すべ 相と協議の上、更に高橋嚴相

一大宝 第二 切を報告する事となった、即ち小山法相は同日午後の定例閣議に先立ら午後一時齋藤首相を訪問し、口頭で大藏事件に關しては黒田頭で大藏事件に關しては黒田頭で大蔵事件に開助しては黒田頭で大蔵事件に開助で大蔵事件に開いては黒田山東で大蔵事件に開いては黒田山東に関係なる綱紀問題に就いて

を明瞭に述べると共に単にに其起訴は殆んど不可避な

高田正信

岩出眞四

支 那側設關は

二重課税を免がれず

滿洲商品對支輸出壓迫されん

混沌たる外交界に

事件連座の結果符一法相との會見後直ちに高橋蔵相はもとよ 至つた、即ち齋藤首相し、傐右小山法相 するは殆んど確定的と

即ち齋藤首相は小

設闘問題も弦に解决、長城線 始することとなつた、斯くて解决され、之に伴ふ支那側の 々則に依り蔵よ徴税事務を開外しき懸案の通車問題は遂に を關税線として中華民國關税

するは殆んど確定的となるに結果に基き當然總辭職を决意

顧維鈞歸朝か

支那政府の外交官異

及所は外交官の大異動を行ふ に非ずやと観測されてゐる、 に非ずやと観測されてゐる、 に非ずやと観測されてゐる、 作の外が政策に飽き足らず宋 子文、孫科一派の反政府派に 合流する氣勢も示してゐる複 な

||完全||原として取扱ふ

遼西地方から天津方面へ多量 税業務を開始するので 別へば

の所已むを得ないであらう、

尚滿洲 國山海關 税關に於て

|必然||の勢であるが、

との商取引が復活旺盛となる商品は今後大津、秦星島方面

で滿州國の輸出税のみ課せらに輸出されてゐる穀類は今ま

税業務を開始するので別へば等課税しなかつたが、今後機能は満洲國土産品に對し何

關稅上に於ては支那は實質

央の立役者たる北支政務委員 には何等公電がないが、確開 するに今回の北支通車問題解 がないが、確開

豫想されるト

ラブ

通關

に伴ひ

長黄プ氏は未だ北平に歸任せ

清洲國が山海關稅關を接收したのは大同元年六月廿五日で大連、營口、安那を完全に外國として取扱ひ来つたが、支那は大連、營口、安東を區別し此等海港よりの輸入品に對し或程度まで満洲國不承認の貨物に對し、大連、營口、安東を區別し此等時端洲國不承認の貨物に對し、支充つたのであるが今回の設關により長ななが今回の設關により長となったのである、從來滿洲として愈まで方。

代行践すら有力で國民政府部

を强調 强力一致內閣

一文主 により報告を希を準備の為、一兩日を要するならば之を準備の為、一兩日を要するから或は來月一日の定例閣議から或は來月一日の定例閣議 若し政府が 國民同盟の

聯側新妥協案で

報告をなし、之が對策につい を報告は某前関係の起訴が免 の報告は某前関係の起訴が免 の報告は某前関係の起訴が免 の報告は、一次對策につい

鰻 スツボ

料

燒理

北鐵交涉曙光

富局より工部局に酸重安に拘禁された事件は、陸ビストルを擬し直ちに陸

る故それまで 関としての 質い

地方縣公署

朝日通日本橋町朝日通日本橋町

國庫より支辨

中 年度より實施されること」な 事 実体給制度の確立統一の行は れんとしつ」ある折柄橋めて れんとしつ」ある折柄橋めて

慣が明瞭となれ

により最後的圓溝妥協に到達 の可能性が微かながら認めら れて來た 工部局

夜工部局英人巡査が陸戰隊 釋放さる

ので、午前五時一先づ不法英 ので、午前五時一先づ不法英 れてゐたが、これからは更になり二重に課稅される認事となり二重に課稅される認可を決倒の輸出は相當阻害されて今後の輸出は相當阻害されている。

藤首相は同日を とした模様でも

れた東郷元帥の

向けられるものも同じく二 譯

あるが右について高橋實業部 の特産商人から重大視されて の特産商人から重大視されて として農業倉庫を設立する計實業部では農村救済の一方法 総務司長は語る

ボーつの方法であるからこれの方法であるからこれであるからことも *恒久的のものであるから 相窓大きな問題である、これは相窓大きな問題であつて然 満洲特産物界のためにつく 特産商に大きな打撃をあた へることとなるので長い間 というなるので長い間 ないとどうなるか判らない の點も政府としては考 四一點合 四四四四

斯· 奉天 業會社佐 斯· 泰天 業會社佐

奉天土地建物株

五三一三九七現

三三三三三三 仙仙仙仙仙仙仙 名英奎兰思兰图

合名會社森洋行

1100

亞勤業株式會

合名會壯藤田洋

株式、社械農毛

一日よりの通車に伴ひ實際的 に幾多煩鎖なる問題の發生を に幾多煩鎖なる問題の發生を に幾多煩鎖なる問題の發生を 動力での問題は 一日よりの通車に伴び實際的 である、現在迄の所支那側税

各方面好評 デマらず

富八郎君

おった。 から築務を執行する外あるました。 がら築務を執行する外あるました。 がら築務を執行する外あるました。 がら築務を執行する外あるました。 ではそれ等ののの がのに、 がのに、 がのに、 がのが、 更に旅客も双方税関 ではてれ等ののの ののに、 ののに 認識する時に北支將來の平和證とし且職業排日家の沒落を證とし且職業排日家の沒落を間に於いては本案の解决を以 を守つて居る、

百

又目下歸國中の駐露大使顧惠 の駐佛公使顯維鈞氏は最近歸 の財佛公使顯維鈞氏は最近歸

するが如き事は甚だ意を得ぬしから収結果を列し

4

||九文写 || 我關收納處、貨 一目下建築中で一 給を受けて居たが今回民政部 、公署の人件費は縣長以下全部 、祭職集第の中に包含され地方官 、終職第の中に包含され地方官 、日本の人件費は縣長以下全部

農村救濟を目指

農業倉庫設置

高橋實業部總務司長談==

▲帝大農業部教員養成所員二十五日午前八時来京松屋投宿三十五日午前八時平市へ 三十分發略兵事會國八名二十九日午前八時四十五分發哈市へ 二十日午前四十五分發哈市へ 二十日午前四十五十分發吉林へ 二十日午前四十五十分發吉林へ 二十日午前一時三十名國都 時四十五分發哈市へ 時四十五分發哈市へ 時四十五分發哈市へ 時四十五分發哈市へ 時四十五分發哈市へ 時四十五分發哈市へ

七名は納石田派で次の會頭は一三十名である、右三十名中十

石田に確定した様だ

一部當選者氏名

四五五七點點點點

て質面目なる標題下に北平電をドす支那新聞も今回は稼めの色が明かに見受けられる一 支那紙

来については一切沈鮮 で質の報道に止め論評 はなる標題下に北平電 一般民衆商

選和市大率大に於ける財界の というでは一、二部共全く投票を 終り直ちに開票の結果常選の 経定を贏ち得て美事補製の經 を記を贏ち得て美事補製の經

俄然重大性を帶びた 海軍豫備會商 (E)

英米を向ふに廻す 瀬踏み工作として注目さる

火蓋を切 つた

軍備平等權の原則確立を携げて英米に肉迫ずるであらうことは既に英米側でも覺悟して居る模様である、之がため英居の模構會商品議節から米國際市は盛んに日本の主海軍首艦部は盛んに日本の主海軍首艦部は盛んに日本の主 一備平等權の原則確立を携げ日本は國防自衛權の確保、

氏はピンソン大連をあるに居る、たとへば海軍長官スワンソン 佐 養された道は我々の鰯を磨き 最 一様な一切の空虚な考想を清

日米海車営局の論殿

ものと信ずる」との意見を

又前配のスワンソンド

監競争によつて日本を黙縮せ 軍比率公開に反對し、或は建 は、或は海 制限撤廢を擔ぎ出し、或は海に反對の構へをとり或は防備 んとするが如き種々なる牽

する政策を堅持する、余ほ今然主力艦を以て艦隊の根料と 依然現比率が維持される

合に備へる以外にない』と何火薬を乾かして國家萬一の場 明し間接的に日本の要求を限を撤廢する、との意向を 别

●上海倫敦向 電 1志智片公分 電 1志智片公分 電 1志智片公分 電 1志智片公分 電 1志智片公分 高 1志智片公分 高 1志智片公分 高 1志智片公分 高 1 元 2 0 1 元 2 0 1 元 3 1 1

制限を撤廢する、との意向を要求する場合は太平洋の防備

株式會社寺尾吳

▲上海日本向

貸

ス約四十二坪條件有利希望者ハ左記城內東三馬路目拔ノ場所何商ニモ適

東一條通り六〇

器1七〇五番

時二年後六時 中祭日休診

日本海卓當局も決して沈默

その日く 加藤佐太郎君 西尾市五郎君 西尾市五郎君 石井 芳 君 松永主馬太郎君 小原 市郎君 吉田繁大郎君 市郎君 市郎君 市郎君

鬱陶しき限り日本政局の動き梅雨にも似て の上閣議通過、これで一安心満洲國俸給令改正案、大修正

中央通西公園前

たかも満洲の國力の如くにたかも満洲の國力の如くに 財値 11次10 財値 11次2位 安値 11次2位 安値 11次2位 中央 位 11次2位 大連鈔票銀大洋 現物 2211至 大連シ票銀大洋 現物 2211至 大連シ票銀大洋

●阪神日 第一回 元十八分 米

『一身報國罪の償ひをなす』原首相刺殺の中岡艮一來滅、

地市場

朝日タクシー内一工町三ノ一三

フ

台

吉林 サロン

3

イヤ

新開店に依り數名入用 新京電話二七〇六番

御旅行者及一般の御便宜を計る爲左記取扱を致しますから御利用願ひます 一新京驛發送手荷物 小荷物の蒐集一、同到清驛留小荷物代理引取及配達右一切迅速確實に取扱ひ致しますから御用の節は電話が業書にて左記に申込み下さい 中央通十一番地

四九四00 0C073

官里の一番

ざいます。





新京市况

町 = T 電話三二九六番

醫

至午後六時

口齒 腔 科科 編

財を掠奪される等農村の疲弊 或は住家や燒却され、或は家 警石縣は事變以來匪賊跳梁し

黑河航空路 日から開く 週各線とも定期に

木、土、三往復) 大体左の如きスタ

「毎週月、水、金、三往復)市-依蘭-佳木斯-富錦禄

った以て構成され

各地における切符の發賣は會 齊々哈爾—北安鎮—黑河縣 各地の發著時刻は次の通り (農任)

H

木、金、土、六往復) 錦州線(每週月、火、

で

黑河線 (毎週

北安鎮發 三、0

哈市着 1五1五

- NAO

錦室 州 着 着

定典出されたが取調べたとこれを出されたが取調べたとこれを 一十八日午後十一時四十分ご ろ三笠町三丁目朝鮮料理店覧 が登樓し六圓六十錢の無錢遊 が登樓し六圓六十錢の無錢遊 が登樓し六圓六十錢の無錢遊 只飲み男 秋用に供すると、備付ける列 等及ひ二等客車室に備附けて ある飲料水容器に飲料に適す る精良の氷を溶解して旅客の である飲料が容器に飲料に適す

満鐵列車に備付ける

七月一日から九月十五日まで

原首相

六各列車、なほ容器備附車は一十八、十九、十九、二十各列車、安本線の第一、二、三、四、天本線の第一、二、三、四、天本線の第一、十四、十五、十六、十七

一等車は 一等車は 一等車は 一等車は 一等車は 一等車は 一等車は 一等車は

中岡良一

4

一身報國、七

人罪に酬ひん』さ

教授正三位勳二等田島錦治博名譽學長、京都帝國大學名譽

韓頭本祉記者に語る

歌を強想し不安に戦きつい 変を強想し不安に戦きつい 変を強想し不安に戦きつい 立往生の車内に数時間籍語 めとなつてゐたと

士は廿八日早朝脳海血で急逝

享年六十

同夜午後五時ごろ東一條通カ を担け、一大東慶治(二七)で 同人は で 同人は を飲食し女給のす フェー精養軒で十二圓八十

飲食し女給のすきに乗じ逃 駐屯せし

た氷水を

磐石縣當局では集團部落を建 整心、脾害を防ぐため本年五 月より三期に分ち集團部落の 建設に着手したが、第一期計 をの日に増加し、計畫前の十 餘戸に比し現在に於ては百五 十餘戸の多きに達した、而し て同集團部落の周圍には約四 大同集團部落の周圍には約四 大同集團部落の周圍には約四 大同集團部落の周圍には約四

新發屯方面の少女舞踊家達に おうけん ち白薬町會舘で、満銭社會保 主催の下に少女舞踊會が開か で毎土日兩曜日に奉天から藤 が行はれてゐるが、目下會員

申込は社會係又は白菊町會舘 募集中で、會費一ヶ月三圓、 が行はれてゐるが、目下會員

政問題として関

一、ジンキュース系(シーホ 原係各方面より

東安省在住 總署當局で考究中

雑するに至つい

立ったので

等寢台車、一

、二等食堂車にかぎ

少女舞踊

日夜會館で

興安省の僻地には約三百萬の 大開民族が世界の文化から取 では左記未開民族の歴追を受け萎縮し つゝあるので、今回興安總署 では左記未開民族の文化啓接 では左記未開民族の文化啓接 が代表の変化を強って、 中であるが、 常局の重大な施 族、ダフリー族、ソルロン地方 - 帶に居住地方とでは日本

國際列

脱線顚覆で大延着

知

族、ハクリツー族、タター一、蒙古系(シンバルブ族、ブリヤード族、チンバルブ族、サンバルブ族、銀龍江省西部國境地方及ひ パイル地方し 異をなし逃走した、犯ヶは二十七日 中前三時ごろ寛城子不知火料 理店に登樓し、遊動警察戦員 と稱し十五圓六十銭の無銭遊

軍政部では海車江防艦隊の機 軍工十名を募集すること」な つた 次退場(所要時間約三十分) 鐵路總局で スト募集 見習少年 んて減準物を裂 る三度、放用 七號(二十七日附)にある
下の邦文タイピストを募集す 東京駒場帝大 學友會盛會

等程度の學力ある二十二歳以ケ所で高等女學校卒業又は同 り扇房グリルに於て閉會した 會を兼ね二十八日午後六時よ 大同學院關係者地方分散送ョ

質菜 岸林務司長韓旋の許に 高者次第に激増し新京のみに ても三十餘名を算するに至り ても三十餘名を算するに至り

で開催される薄別りで開催される薄別りで開催される薄別り

で開催される滿洲見本市に新七月二十四日から三日間奉天

者百名か

新京

大阪中央

憲話三三一番

謹

告

棚卸品調に付き一日臨時

上程

時新京發列車で下關に向つけとりのため二十八日午後

一、六月三十日午後四時半一

磐石縣で經營の

次減津物を案上に置く

タイピ

宮司祓詞を宣る一同唯禰

日本から歸京の途列車中で死亡した新京商工會議所理事大臣鶴滅氏の本葬は新京で行ふらとゝなり峰村書記は遺骨受ことゝなり峰村書記は遺骨受

頃は左の通りである 一年中で重要な祭式でその要 式が行はれる、この大蔵式は

を募

日は新京神社で大破

峰村書記下關へ

あす新京神社で

き一切の物では

10

舞金を募集し盛會に散會せり遺離を受けたるものに對し見遺離を受けたるものに對し見

投資中である

難

新京の見本市

銭を飲食逃走したものである

本 説町二丁目九番地三谷ネイさんは二十八日午後三時十分ごろ吉野町市場で買物中黒皮製財布一個在中百二十九圓を河者かに窃取された鬼変店長原口純允氏方家人がでける。 マース日午前十一時ごろ自二十八日午前十一時ごろ自

けふの 宅表庭に毛布一枚時價三十

者かに

窃取された

銀相場

現大洋對鈔票 現大洋對金票 現大洋對金票

九六日七 個

内外あるものとみられてゐる年も新京からの出席者は百名までに申込まれたいと、 尚本

連檢察局高井檢察官は大連署通行人が發見、届出により大通行人が發見、届出により大 人口に死後二三ヶ月を經過せ (大連関通) 廿八日午前九時 平川司法主任以下刑事係を

て去つた

執行猶豫の男

名を騙り 無錢遊興

> 版華豪 ルーオ

?かたしま見 の上地 0 座星

五十名で希望者は必ず三十

申込んだもの

休業仕候

保置人二名を要す御希望の方は至急履歴 名 (年齢四十歳前後) 名 (年齢四十歳前後)

急

書 持 等 等 等 発 員 発 員

白

腐爛してゐる爲、自殺、他殺全身白骨を現はさんばかりに

廿八日より

春

達用御衛官諸

で上映中

揮し、現場檢證を行つ

きし濯がが用 新京 化 関トナリ 新京特別市與選路

識 科

和 通

御

去る大正九年十二月十五日長春 實業新聞(現在新聞と改題)創立と同時に入社いたしまして今日 いただきましたのでお暇をいただき不日内地へ歸ることをました、在社中は讀者各位を初め皆々様の格別 引立てに預りましたことを乍略儀弦に紙上をかり 引立てに預りましたことを「略儀弦に紙上をかり 明徳が「厚く御禮申述べます」に各位益々御健在御奮闘の程御禱りいたしまして今日 おとれて 「日と暑さも厳敷くなりますから御身を 「日と暑さも厳敷くなりますから御身を 「日と暑さも厳敷くなりますがら御身を 「日と春は一日と暑さも厳敷くなりますがら御身を 「日と春は一日と暑さも厳敷くなりますがら御身を 「日と春は一日と春さも厳敷くなりますがら御身を 「日と春に入社いたします」といる。 ま御身 を 御大切

市市 郎

等O 岩七

電球容量變の方へい

自宅(岡山市津島町新町)

【吉林國通】吉林警察廳では 満日舉動不審の一端人を逮捕 酸重訊間中のところ廿八日に 至り右は昨年二月廿四日類稷 野威虎嶺に於て吉林の木材商 富士公司の店員大塚長吉君を を記述した。 を認述した。 を記述した。 を認述した。 を認述した。 を認述した。 を記述した。 を記述述述した。 を記述した。 を記述述述した。 を記述した。 を記述した。 を記述した。 を記述した。 を記述した。 を記述した。 を記述した。 を記述述述。 古八日 吉林警察廳の手に捕縛 おれた まテンに関する解説である▲ するに當つて人格化したシャ するに當つて人格化したシャ 本をとり沙漠の旅にシャボテンは人間と離れることの出來 ない植物である、人生を沙漠 にも似たものとせばシャボテンは泉であり、光明である、 の体内の水で生きてゆくといっ年二年雨が降らずとも自ら ば土人は仙人掌に竹をさしては音をたてゝ水を吸ふ、される辛棒塩さ、その代り雨降れ ヤボテン鴬の隨一 ンである。これは在新京 家庭は樂しいお

\$

照明器具爾提供

住

向

二二五六

方へ!!

\$

TT

プラノ歌手、

魁打て近く七日

選んで出版する事となつた

生命を賭しての整樂研究報ひへの出演等三百象回の出演全巴里隨一のサンドプレイエル

會に於る關屋機の

に以来日本各地の競表 の關屋纏の人氣は實に いまで、更に伴奏者と いまで、更に伴奏者と

包圍の報に

民兢

R

関は最近の関屋 時細は数日中に 期日會

千 四

開屋敏子

近日首都新京にお目見得

健 出

院長以下の

各酸着場に於ける停留時間は十分乃至十五分である

哈市設 八00 依關設 九10 佳木 10~00 常錦10~50 富錦設 11~10 佳木 11~10 按關 11~10 按 11~10 按 11~10 按 11~10 按 11~10 按 11~10 按 11~10 下 11~10 下 11~10 和 11~10 下 11~10 下

忠霊塔基金募集は

一車は南瀬線第十一、

等食堂車、安奉線は

感よあず締

| は特長を有つ幾多の新規事|

スクッフ

遠なる點に於いて各方面から新設はその必須性と目的の深

樊町二丁目十番地梅津力衛氏た忠鰀塔建設寄附金は市内永

十圓、小計二十五圓、受託開かれ、地工務店主菊地健之氏の金二

あす三十日で締切りである 始以来の累計六千六百二十二

一下さい、只一

「日名の匪賊突如嬰米田中部隊 百名の匪賊突如嬰米田中部隊 では之と交戦の後匪賊を潰走せ

とめた此の酸闘により敵胆の 田義房氏職死、重傷は左肥四 名である

副頭目捕はる

菊地工務店等の寄託相次ぐ

五事件と、相ついで行はれた 政治家、財閥などの狙撃事件、 で世人を恐怖させた犯人の公 物の気最中に八ケ年の刑期を をへて今春出獄した原白頭宰 相刺殺犯人中岡艮一は出獄後 高蒙の天地に活躍すべく方々 に就職斡旋方を依頼中であつ たが今度へルピンの満人商店

前七時新京菁南浦線で飄然新 京に現れた、いが栗頭に灰色 のレインコートに黒の短靴で 人目をさけて北鐵南部線午前 車機關車から六輛目三等車の 車機関車から六輛目三等車の

この一言を残して北滿目ざし

鏡州湖西北方で

五百の匪賊と交戦

グロだ、併し一度花を開けばいトゲを有するものはない、萬有植物中彼の右に出づる强

併し一度花を開けば

日本軍死傷を出す

一でも罪亡ぼしをしたいの 身報観もつて大罪の萬分の

腿たるべき大陸科學研究院の つて滿洲國産業開發の指導機

るい御 住 明 改善のお

匪首九江

田野水伊村 田野際

金 民 信 喜雄 藏 一 一

吉林警察廳

特價 間 申込は今すぐに 七月十六日まで

錢圓

一圓八○錢……二 一圓五○錢……二

間







美額術 洋 髪 マ = 丰 新京大和通四九 ユアー、 大和化粧院 御着附

食道樂とい 四十人様迄 電話三七六一番階町四丁目十四番地

御家族的に 卓絕せる江戸前調理!! 0

努用品 高級事 新京口本橋通り The state of

(可認物運用語主等)

(EI)

版新江

戶

八

上班

行友李風º

和 友李風 智作

月七日迄畜犬ノ放飼ヲ禁止を 一日迄畜犬ノ放飼ヲ禁止を 一日迄畜犬ノ放飼ヲ禁止を 一日の一日ョ 一日の一日。 一

●! 白の・

御殿女中江戸役者こ

道うやありませんか」

「えットなんですつて。

畜財ム一攫千金

一年大病費 リ同月七日迄寄犬ノリ 関第十四條ニグ リ同月七日迄寄犬ノリ 昭和九年六月二十三日 路司 高山 勝司 高七號 日至同

こちらの代六さんをお暮れして来 思る兄の新五郎は、旅襲行の留守 したが、縄域はお構ひ。――かに間べもなしで、開放免にはなりま

新夕

車ク

でシ

心の

の用

良

電

ショールは

高山勝司 ●關節炎 ●脚

るに限る

位本術技は繕修車動自 富

○藩場

る。 常に明るは ある一家は 0

シリンダーボーリング ポテー設計製作及改造修理 ポテー設計製作及改造修理

召至 更話之四六八

00

成じのい、この家で皆様の御来遊を御待申して居殿い庭園、静かな離れ、家にや小座敷、大廣間 の節 11 是非

御出 亭墓町三丁 分 0

静かなお座敷

味覺

斬新なる設備優秀なる技術は ます 事門技術員を以て御待申して居 用の程を願ひます 用の程を願ひます 好評を戴いて居ります

お

75 3

> 代新 カベ塗料カセイ 理京 店總

ンの特價提供・

開始性調料「岩城セメ

話四七九〇番 司

満ち溢ると

電話二十六五笛

そこは悪魔に添ふ女

百

20

まりましたが、早、秋風たちそめ 中六の屋

入產

院婆

隨派

時遺產婆主任

何て、薄情な

まあ、から

っせめて、対語の山山

(日)

曜

御用い電三三〇〇世へ

THE PERSON

聞

門司、神戸(大阪)行
※印二三等船客設備船
《印 廣 島 寄 港
(午前十時大連出帆)
5 らる丸 七月 二日
たこま丸 七月 四日
だいかる丸 七月 四日
だいかる丸 七月 四日
だいかる丸 七月 六日
たるびん丸 七月 六日
はるびん丸 七月 十日
はるびん丸 七月 十日

梅枝町三日

應じます!! は特に安く御相談に は特に安く御相談に

鍋料理

元なべよし跡 家族的に御利用の程を…

實任を以つて推奨出來る!!

閑靜で

B

H

京

新广

新介

月二日 五日間 月五日 五日間 日本 午後 二 時 日本 午後 二 時 日本 一 時 日本 一 日間 日本 一 日間 日本 一 日間 日本 一 日間 日本 日間

・親切叮寧は三十名の内地人運轉手が實際に 土屋 タクシ

高山勝司

清水鍼灸醫院

上屋地工作

京氣

電氣製造株式會社 滿洲總代理店

商金

表者間に論議され、某々 氏と會見するものと観られる。
まだがイス氏は更に松平大使表がガイス氏は更に松平大使のランジュ 五大海軍國多邊交渉に入る

担否したので目下在プラジエー 世でこの交渉中であるが若し 歴でこの交渉中であるが若し 歴でこの交渉中であるが若し 歴ーせざる場合は在黒ツ聯領事館 大阪時事新報社長秘書誕田常 太郎氏は社長代理で新京支局 長仲谷善治氏と同道本社に來 動換拶を述べた 大阪時事兩氏

が鐸氏こそ功勞の第

の成行であつたが、準んで 事項を約束したことは當然

通車解決の

人事往來 中島東亞局第一課長二十九 日午前七時着來京

れたが、その一般 會計線額一億八千 の一般 を計線額一億八千

間の豫備を涉が

區一千七百五十一、合計一萬 一千九百十七,第三區一千九 百八十六、第四區二千七百三 十、第五區二千六百四、第六 十、第五區二千六百四、第六

で 書きていると約四千萬圓岸度の増しためにする。 「大めにする。 をとに編成されたことは書人の最も満足するところ▼ついで書々が最大関心を有するものは、日滿國防費九百萬圓の度上であるところ▼ついで書々が最大関心を有するものは、日滿國防費九百萬圓の変出であるところ▼ついで書々が最大関心を有するものは、日滿國の変出であるところ▼ついで書々の生命財産の保全が最大関心を有するものは、日滿國の変出であるとは書人を別様を、治外決構撤廃準備のよれがためには司法諸制度の保全を制きないが、またの高さと思う。

四日發東上

本谷像波瀾目藤 岡谷務岡 本谷島 勇三 岡田中 金幸辰道 物太 之太為禮正直熊 完之一夫 物太 助郎治吉忠一喜安顷二助郎郎譽柳助郎 成人 は目下滿洲國ル業部に對して設立申は目下滿洲國ル業部に對して設立申ば明末に進歩中なり「哈爾濱洋灰股份有限公司」への投資順素に進歩のおり、一時爾濱洋水及份有限公司」への投資順素に進歩では別上高帆氏を技術監督とし永井工は別上高帆氏を技術監督とし永井工は別上高帆氏を技術監督とし永井工 の御 好目的物たる事を確信す立は國家的思地より観で頗る 五百萬圓 五百萬圓

對する するのが兎も角も現在の 八日午後齋藤首相、高橋駿相の重。 銀輸出禁止を公表 閣、總辭職を决意 山本内相の心境に變化を來す 職出を禁止する但し ・一会特許ある場合の外銀の 定を見た 靜觀的態度を放棄 製品及び外國銀貨は除外 全体の報告は未定 を以て報告することとな 体の報告は未だ完全の域に の放相に對し大蔵省事件 検察當局は左の如く語る の放相に對し大蔵省事件 検察當局は左の如く語る の対したが經路を聴取したが を発達したが経過を聴取したが を表情になすべき事件全 の対したが経過をでしたが を表情になすべき事件全 の対したがに関し、 にけ完了 他各般の客棚的情勢は徒らに内閣の延命を策する

思よける公

國官等俸公

政府適切なる

増殖計画花の

實施を見る

と即答を紹保して會見を終った、斯くて識ソ兩國の基礎案と今期のソ側の職が案を と今期のソ側の職が案を と今期のソ側の職が案を たるものあり、來週中には多 か北鐵第四次中間會商は大橋 カズロフスキー兩代表間に行

兩國間譲步の跡歴然

來週中

領事館の ターボ

是年六月二十三日 至

川崎第百銀行支店 川崎第百銀行支店

圓突

昨日一日中で千四百余圓 新京鐵路局や町内會から 日で締切

日十三月六年九和昭

五銭あり、また市内三笠町二丁目大作献助氏から金三圓更に新京鐵路局長金壁東氏からに新京鐵路局長金壁東氏から同局日滿人の醵金七百六十三四局日滿人の醵金七百六十三四局日滿人の醵金七百六十三四局の計

語學受験者は

しこれ等の者も所定の受験名 県に受験手敷料金一圓を添へ 村月三十一日までに提出せざ れば本試験の受験資格がなく

七月卅一日までに申込むこと

滿鐵檢定豫備試驗

り)で行はる、開票は同日午 地方事務所庶務係(投票箱あ 地方事務所庶務係(投票箱あ 地方事務所庶務係(投票箱あ

感よ改増築に決定

平年秋近に完成を昨日b

京都學務課長に提出すること なほ新京附近における確備試 験施行場所は新京、公主協 四平街、開原、鐵嶺、ハルビ ン各實業補習學校、金銭・納 一四平街、開原、鐵嶺、ハルビ の中街、開原、鐵嶺、ハルビ の中街、開原、鐵嶺、ハルビ

社員會評議員 補欠選舉 集會場御大典記念館

第七班法庫縣 第八班西豐縣第一班、承德 第二班、蒙里 第六班(缺班)

逮捕さる

期やく折合 但し借入金六萬圓を追加 市公署、満鐵に申込

・日本のでは優易設備その他のででは、日本のででは、日本のででは、日本のでででは、日本のででは、日本のででは、日本のでは、日 あった、地方事務 地方事務所長宛て申 で、地方事務

で懲役六ケ月に處せられ本年自供した、なほ犯人は昨年十一月二日新京總領事館裁判所で懲骸詐以してゐるを一

麥託兒童問題

財政部で 新年度早々

財政部に於ては元年度新規事就年度早々新に職員を採用すること」なり左記規定に依り採用試験が行はれる、採用人員は試験の結果を見て决定さるべく目下末定であるが當局としては成るべく滿洲語修得

處分で釋放されたも 起つて各部の狀况を報告、更 熱心家揃ひだけに、いとも朗 かな雰囲氣の裡に最後に萬歳 かな雰囲気の裡に最後に萬歳

新に職員採用

に就き七月二十五、六日頃口頭試問へ前肥科目合格者 **験科目 論文、聽取、**

一、鬼話交換機 一

屋內用電話機一、電話用器具、

、機械 材

新京日

本橋通七三

新京惜敗 對大連滿電

際に提出の事(滿洲語受験・小型寫真を添へ財政部人事・小型寫真を添へ財政部人事・一、受験命収者は自筆履歴書

、受付、七月十五日糸財政朱書のこと)

人事課にて受験票を受取る から 大きに 一、七月二十一日午前十時よ から 一、七月二十一日午前十時よ

8 鹽崎 35 打戦 31 5 中川 賞 管 かっマンスを 10 で 2 転 10 で 2 転 10 で 2 転 10 で 3 5 行戦 0 4 に 数

業野球團

音樂なご公演

一日夜太子堂にて

八舞踊

ばすことであらうプログラム特の男女レヴューで観衆を歌 は左の如く、入場料五十銭の 結成されん

新士を慰問し、また白菊町會 人男女見學團はさきに關東軍 は 大男女見學團はさきに關東軍 は

十八日ハルビンから再ひ來京校招待園遊會に出演のため二

二、世年祭踊二、首祭り踊

行は三十日四公園に於

見込みである

六、整築 (七字親、子弟行進 出) 中、除興數番(アリラン師、 東京晉頭踊その他) 番外活動寫眞上映

店理代 丸善礦油 會社

陸海軍鐵道省指定工

電話三四六六番

一名重傷 匪襲

する(椅子づき)もので工物楽して一千二百人を收容第一案によれば現ホールを

この機會に各町内會の砂起で 時三十分から、説町太子堂で 時三十分から、説町太子堂で かった、一行は郷軍台灣支部 か會石黄知氏の案内で美人姉 妹をはじめ男女兀名、首祭り の實演や、熱帶情緒膿かな獨

六、器

五、音樂合奏(原始樂、

への骨額を聞ると で民の期待に添ふと同 で民の期待に添ふと同 での場合に添ふと同

滿鐵急行列車

増發に關し決定

ても交戦

の各部隊は所期の目的を達し の各部隊は所期の目的を達し

六日來原駐地へ續々歸還

〇〇沿線

分ち二十九、三十兩日に亘り 行の途に上らしむる事となっ たがその地名、期間、目的等 は左の如きものである

俸給令改正に猛反對

新京衛戍病院入院

横州園側、市中側からそれぞ 横州園側、市中側からそれぞ

新京体育聯盟

の勢ぞろひ きのふ朗かに

【大連國通】滿鐵鐵道部輸送 に實施すべき改正ダイヤの編 成、急行列車の增設等に關し 成、急行列車の增設等に關し で就議を行つた。改正ダイヤ に就ては決定を見なかつたが

々增 水 水 流 流 益

不安増す

滿洲國野球團

大連新京間に超特急一本

米増水、二十九日も二十八日のため松花江は二十八日約一のため松花江は二十八日約一のため松花江は二十八日約一

大連に遠征 に遠征し、温豪大連官楽軍と 一日實業グラウンドで試合を 開始することになった

花

新京商業生

柔道豫選に出場

大連奉天間に急行一本を

奉天新京間に急行一本を

十名出席、野村幹事司會の下 から事業級機役、幹事 各部委員ら約入 挨拶あり、理事長以下各理事、顧問、相 に宴伴ばに 来經過その他を報告、横山雨幹事

签山奉天間急行一本を増

を新京迄延長する

に出場することになつた ・ 一日奉天で開催される全國中 ・ 毎里や柔道大會満洲後選大會 ・ 第里や柔道大會満洲後選大會 ・ 一日本天で開催される全國中 ・ 一日本天で開催される全國中 ・ 一日本天で開催される全國中

部砂瓦石石石

富士町二丁目廿六番地

電話

四

九三

征のため父母妻子の死に逢はしでも慰めやうではないか出 新京聯合分合 かなかつたであらう 特神無くんば満洲建図

開知せぬ旨を整 時節柄反響 を虞れ 鮮魚や野菜 急送に

新京、大連間

「大連調通」 講録 本道部では 十月一日より旅客列車の ヘビ ・ド、アップを行ふと共に貨 物列車の時間短縮をも企園し 七居り、現在大連埠頭驛午前 十一時半發、翌日午前六時三 十五分新京醬の貨物急行列車 なつた、同貨物列車は鮮魚、 野茶等の急差貨物用である陽 に出すのに非常な便利となる に出すのに非常な便利となる。 に出すのに非常な便利となる。

と共に左の如き摩明書を競表 悪兵隊並に各分會へ通知する をいふことに意見一致この旨

在郷軍人にして満洲國官東た るものム不満を買ひ滅俸反動 図在郷軍人會新京聯合分會で 図二十八日午袋配念館に月例

大小汪清の武装共匪約二百及にばん居せる臭義成の指導する製製軍約七百名は、汪清縣

満洲國軍の前途は憂慮されて 内は完全に賊團に占領された

激越なる反對意見

人から

央議文らしいものを憲兵隊へ

大同學院の

調查旅行

防戦遂に敵せず

羅子溝市街匪團の手に落つ

夜來の降雨止まず市民は先年 の大洪水に鑑みて不安にから れて居る、尚は防水準備に着 手せる當局は一段と緊張して 豪雨の為

▲山下盆雄氏(住吉町九丁目 六番地)三男博康さん二十 五日出生 ★土井清吉氏(入船町二丁目









新京電話工業株式會社

道路の整備は漸次荷馬車の通行路を局限せられ惡道路を迂廻するの止むなき實狀で有ります炉尾の如きも多數在庫品表盛期が恰かも降雨期で有ります鳥め現在の儘では全く運長盛期が恰かも降雨期で有ります鳥め現在の儘では全く運搬で存じますけれども目下の虚如何共致方が有りません今後も引續き日満當局者に是れが對策に付き特別なる御便宜を與へて頂く樣御願する積りで御座います。 通知申上げる次第で御座います。

煉瓦製造業者

耳鼻 病病病吸引 入院隨意」

舌元醫院

新京八島通老松町、ダイヤ湾) 售元行安

廿八日の糸田、

西村兩中尉告別式

無行

右部門は数之丞の身近くぐつと語

海外代理店

かをごうて居ればい」に、いらぬが歌題ちゃ。康無僧の分際で、識 家の門口に立ちて、一文二文の合 、歌画にはい」に、いらぬ

何に放あつて抽着に無限の言をは の野手は忘れて野優がお野-55や

者かっそれならばでは更もって後

あった。

ところに出典機つて技聞のないこと

少年講談尺八鑑長

協和農場の概要

(六)

定為十四個年 年冬期交給於乙方 年年冬期交給於乙方 1、旣墾地第一年每晌白米 七斗、第二年每晌白米 七斗、第二年每晌白米 1、旣墾地自康德元年爲始 (乙方將旣墾地賣他人時 (乙方將旣墾地賣他人時 未墾地自康德二年爲始

但、和戶有開房子時乙方應 ・許可有山地木材之採伐權 也、乙方關於甲方和戶之柴火 應許可其所山地毛柴之採伐權 金依租戶之情形以最低利息

可借給於甲方之租戶

晌算出白米一斗交給甲方補、乙方由前條所定租子中每

忠靈塔寄

稍带 二條搗 作説をするなら、先づ以て計別に ので、検拶をかはす言葉が、急に ・ 意を動かしたらしく、それに報いる。 はく、 虚無容感であるのに、 解葉の 裁をするなら 中件を建した鏡頭人の解ひどれ 上は仲裁人に這人って來たのが 数之水であるとは、知る由

それが出来れば保護無用、手を引いる服款の第七の許へと出入いたした。と聞きの優をなほした後にしろ、事を養へて課題より出京いたしを、 無僧のには、貴殿とて出者が話せ しことなれば脚水知もあらう。 「まづ待たれい海倉氏、此の虚

りの姿無を逐一知つで聞るとすれ 少しはつくしまれい」 を高めて心質した。 一般なている。 が石にたへ乗れて取る丞は指 を持ち、刀を佩した武士にる身で な云ひかかりをしたりはいたまの したり、その本事に既して御不敬

た、手は見せぬぞ」 したと申したな。おのれ無優十二 に欲土の所が、幾つてき

情報をお突き倒し申さう。ご自身 ござる。何しに批考の連れの者が をしつた上で、野輪も、果し合もでうの別らの深れ数之水脈、それ

達着取石を門を、けしかけるので 谷助右衛門が、数之丞を明る意を 之とて、深潤でよって居る、古



清凉の氣つねに満つ



東京より

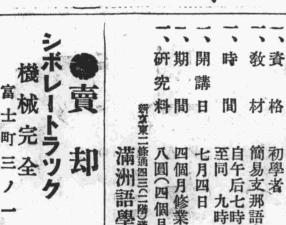




贈敷には戸廉

同五、三〇 古、五〇 六、〇〇

の上の心屋、そのやうな膨胀は心に突き飾されたとあつては、心屋に突き飾されたとあつては、心屋



內 合

隨入意院

電話四六〇六番 領事館前京都旅館時

景品 附 入 增勝馬投票券 揮

場勝勝

券式式

各金金

壹十

圓圓圓

始

不圓(四個月份 不圓(四個月份) 不圓(四個月份業 滿洲語學研究社 科證

肛門病科 科

日催開

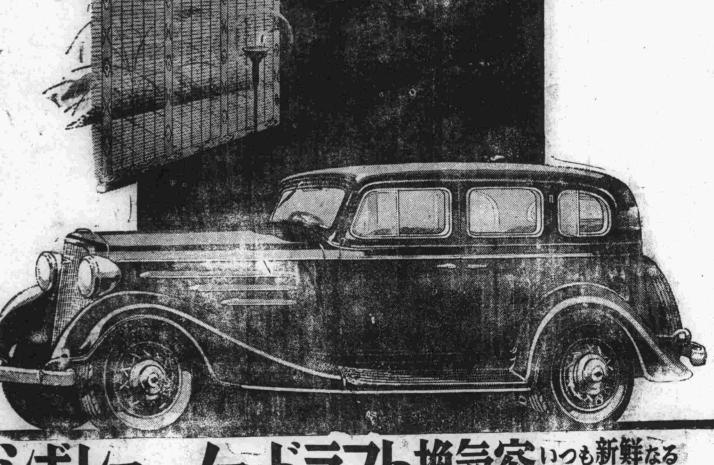
新京電話二七〇六番

語

募集

元札幌地方裁判所構內

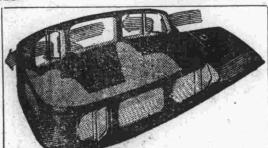
富出電機製造群式会型代理官・・・ で話二○四○番 日本橋通い給八番地



CHEVROLET

ドラフト 奥氣窓は巧妙な考案になる専資特許 の裝置で、他社には真似の出來ない

動的なものであります。 各個に調節自在……扉の内側にある ハンドルを回轉すれば、思ふま・に 消突な空氣を車内に入れ、又車側を 流る・氣流に對して換氣窓の角度を 種々に變へれば、空氣が自由に流入 或は流出します。



/ー・ドラフト換氣窓による空氣の循環狀態 日本ゼネラル・モータース株式會社特約販賣店 UNITED MOTORS LTD. 開発汽車公司

煙を窓外へ流出せしめますから他の 同乘者に少しも迷惑をかけません。 新雨除庇……此の換氣窓の上端に新 式の雨除庇が附けられましたから換 氣窓をあけても雨が吹き込む心配が ありません。又此の換氣窓により、 ウヰンドシールドの曇りを防ぎます から、安全な運轉が出來ます。 何卒下記のシボレー販賣店にて御試

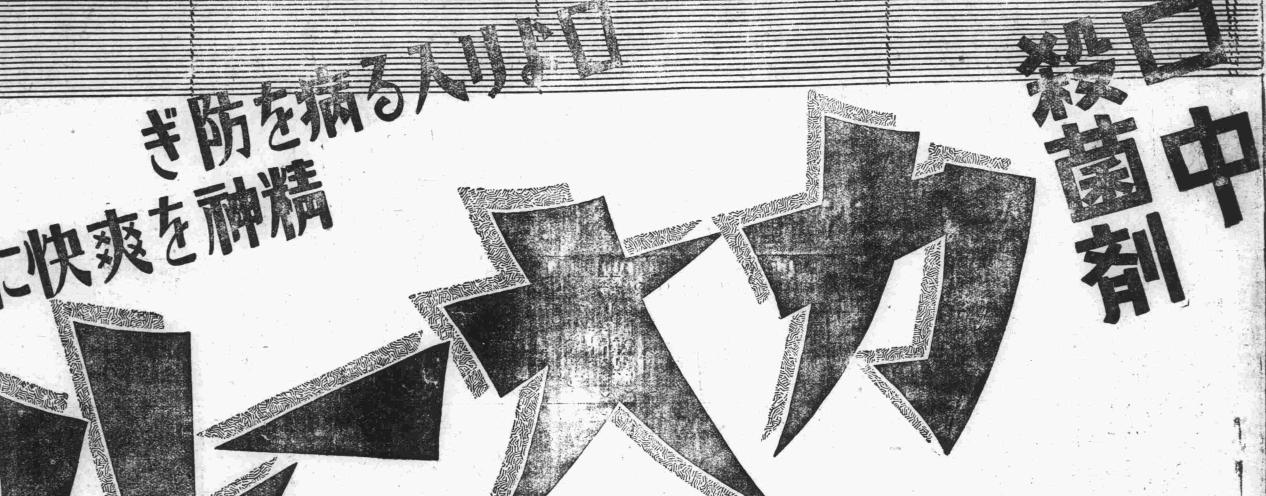
乘の上御購入願上ます。

日本ゼネラル・モータース株式会社

樂部

Ξ

六月三十日(土) 日日 (H) 七月 九日(日) 雨天順延



定 價

≘+ • • •

(三十萬)

五三三百百百五十 粒粒粒粒

第石製美術容器付 (五十錢)

AROMATICCAHOUS

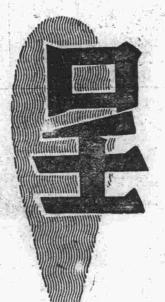
EASE BREATH PERE

遠蔓延の恐 **分月間に回り**

間中がスターの掲げある薬店にて 包(質整學)一造個

普圖

卜十色刷)



全國藥店各位へ御願び

本計畫御承知なき藥店各位

部品藥堂筒井藤安證 舖 本

を願ひます

本剤の二三粒を口中に含み病気に罹らぬ様御注意を願います

後。外出の時。

人込に居る時。等に

期間中總ての衛生に御留意下されて

前宮天水區橋本日市京東